



フェスの未来をデザインする

—フェスに若者を—

この授業は、音楽フェス「MASHUP KOBE」と協力して活動しました。このフェスは兵庫県で活動する7つのフェスの主催者が集まって2025年に新しく立ち上げたものです。主催者から「若者がフェスに来るにはどうしたらよいのか考えて欲しい」と相談があり、企画を立てるいくつかを実行しました。

企画・準備

♪ 25.07.02～

“なぜフェスに来る若者が少ないのか”を話し合い、それを元に企画を提案・実行した。
その結果2つの企画を実行することになった。

★ 推し曲タグツリー ★

推し曲タグツリーは、好きな音楽を自由に紹介し合える交流スペース。
お気に入りの曲をタグに書いてもらい展示すると、同じ趣味を持つ仲間が見つかり、そこから自然な会話やつながりが広がる。
音楽の共感が、新しい交流を生み出す場所。

★ 推しフェス診断フローチャート ★

診断フローチャートに沿って答えることで、来場者は自分と相性の良い音楽フェスを見つけられる。これにより、まだ知らなかったフェスを知るきっかけとなり、フェスの認知度も拡大。さらに、選ばれたフェスの出演アーティストや会場情報をおすすめすることで、音楽を通じた新しい出会いと体験を提供。



その他の企画案

- 花火
- プレイリストの作成
- イルミネーション
- SNSでの広報活動
- ライブペインティング
- 初心者向けガイドの掲載
- フェス初心者エリアの設置
- 暑さグッズの貸し出し
- ご当地クール飯選手権
- 学割キャンペーン
- ルートマップの作成
- SNSインフルエンサーPR
- 学校へのポスター掲示



当日の活動



♪ 10月4、5日

～推し曲タグツリー～

当日はあいにくの天候で、集客があまり見込め無かった。
そこで、ブースで待つのではなく、学生自らフェス参加者に聞きに行くことにした。特に親子連れや、休憩中の方が答えてくれやすい傾向が見られた。2日目には、出演アーティストの方にも書いていただけた。

結果 1日目: 74枚 2日目: 183枚 合計257枚

～推しフェス診断フローチャート～

当日はブース横に設置していた。道行く参加者がしてくれて、フェス巡りのサポートができたと思う。診断フローチャートをしてくれた人によると、なかなか得た結果が出せていたらしく、満足してもらえていた。



リサーチをふまえた提言

2026年以降

場所:会場の範囲が広く、ステージ間の移動が大変。しかし、神戸を感じながら参戦できた。

客層:親世代の30,40代や親子連れが多い。若者の集客率を上げるには、同世代のアーティストをキャスティングした方がよい。

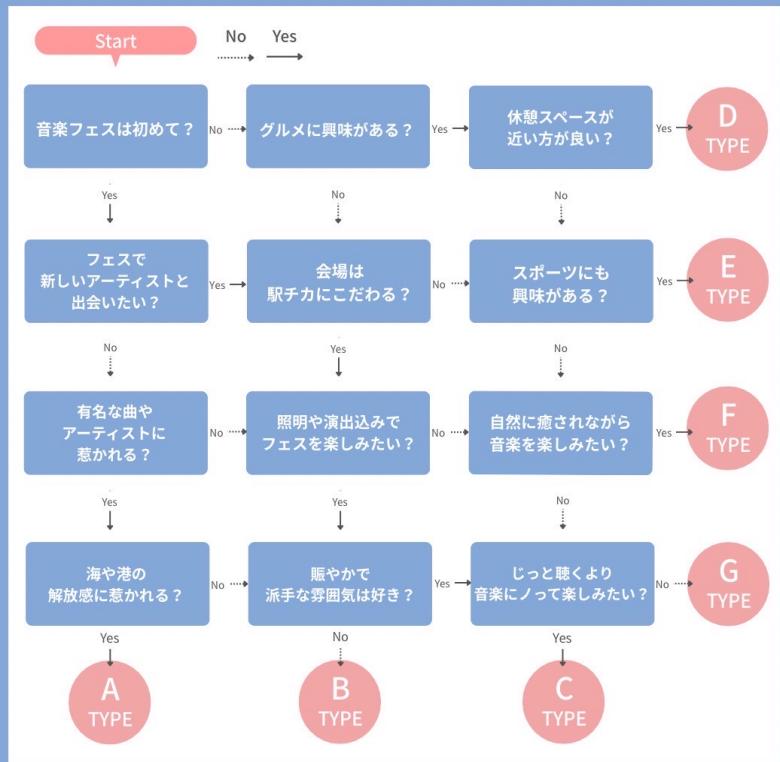
フード:屋台が豊富だった。飲食スペースが充実しており、開放的に過ごせた。フードとフェスの雰囲気がミスマッチしていた。

改善策:来場者層の偏りや会場の一体感不足を改善するためには、若者が日常的に見るメディアでの告知を強化することが重要である。さらに、会場の動線改善や、参加型企画を取り入れることで、フェス全体の一体感を高め、新しい音楽との出会いを生み出せる場にすることが期待される。



＼7つのtypeで分かる！あなたに合うのはどのフェス？／

YES or NOで簡単診断



※本フェス出演アーティストに限ります

